

令和 7 年 12 月 3 日

公認スポーツ指導者 各 位

埼玉県バレー ボール スポーツ 指導者 協議会
会長 上 笹 淳二

第 35 回 埼玉県バレー ボール スポーツ 指導者 義務研修会 開催要項

1 目 的 全国及び埼玉県における、「バレー ボール 指導者の資質の向上と、年々移り変わるルール、技術、指導方法など指導活動における諸問題の解決を図るための研修を行なう」とともに、これから「新たに指導者を目指す者の育成を図る」ことにより全国及び埼玉県のバレー ボール の普及・発展を目的として開催する。

また、「公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（バレー ボール）の取得者には資格更新研修」として位置づける。

2 主 催 埼玉県バレー ボール スポーツ 指導者 協議会
公益財団法人埼玉県スポーツ協会 スポーツ 指導者 協議会

3 後 援 一般社団法人 埼玉県バレー ボール 協会

4 開 催 期 日 令和 8 年 2 月 22 日（日）
受付：8：30 分から教室にて受付。 研修：9：15 分～14：55

5 会 場 (開催地 埼玉県)
埼玉県立スポーツ総合センター 講堂
〒362-0031 埼玉県上尾市東町 3 丁目 1679 TEL048-774-5551

6 募 集 定員 100 名
(1) 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者 * 県外からの参加も可能です。
(2) 現在無資格でバレー ボール 指導者またはバレー ボール を指導しようとする者。
* 18 歳以上。（資格取得講習ではありません）
* 学生の学習意欲に貢献し、若年層の競技だけでなく知識と指導への興味の育成を図りバレー ボール 普及拡散を願う為。

7 申込方法 QR コード の設問によりお申し込みください。
要項は埼玉県バレー ボール 協会 HP 等にも記載されます
申込期間 令和 8 年 2 月 14 日（土）まで

8 参 加 費 (1) 5,000 円／人 当日 徴収



9 持 ち 物 本研修会は座学のみの研修となります。貴重品は各自で管理してください。
昼食は各自、ご用意ください。（食堂ありますが、カレー、そば等の軽食になります。
食堂希望人数を把握するため QR コード の設問にお答えください。）

10 日 程

時 間	内 容	備 考
8:30～9:00	受付・開校式 会長挨拶	参加費徴収等
9:15～10:45	アンダーカテゴリー	浦野 正 講師
10:55～12:25	中高カテゴリー	加賀博紀 講師
12:25～13:10	昼 食	
13:10～14:40	トップカテゴリー	根本 研 講師
14:40～14:55	質疑応答 閉校式	全講師

11 その 他 (更新研修にかかわること)

研修会の参加により、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の更新研修を修了したことになります。

ただし、次の資格については、更新研修を修了したことにはなりません。

「水泳、サッカー、テニス、バスケットボール、バドミントン、ライフル射撃（スタートコーチのみ）剣道、空手道、バウンドテニス、エアロビック（コーチ4のみ）、チアリーディング（コーチ3のみ）、スクーバ・ダイビング、プロゴルフ、プロテニス、プロスキー、オリエンテーリング、スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士、クラブマネジャー」（2025年4月1日現在）

※公認指導者資格の更新研修の詳細は公益財団法人日本スポーツ協会のホームページにてご確認ください。

※指導者マイページへの受講J詰責の反映は、研修参加から平均2か月後となります

1. 講習のコンセプト

① アンダーカテゴリー

小学生チームはクラブチームとして活動しているチームが多い状況の中、指導者は日常仕事を持ち、その後や土曜日、日曜日祝祭日に練習や試合を重ねています。その中でチームを維持構築していくには保護者、選手との信頼関係は勿論、経営、保護者対応、連絡、健康怪我対応管理、クレーム対応、練習計画、指導方針など、普通学校で行われている仕事としての活動を地域クラブチームが任意で担って行かなくてはなりません。その状況下では多大なご苦労があると思います。その対策として最善の方法や困った事、良かった事を皆さんと共有し受講の皆さんのがんばる知識を向上して頂く為の講習成果を願っての企画、計画です。

② 中高カテゴリー

中学部活から地域への移行が広がり、クラブチームを新たに設立する事も広がっており、その様な方々にも準備に当たっての参考になると思います。

指導者も今の自分をキープする事より学習、研修を積むことにより不適切な行動（暴力）、暴言が減ることを願うのもこの研修会の目的と考えています。

③ トップカテゴリー

指導者、選手とともに目標、夢、希望、楽しみは無くてはならないものです。トップカテゴリーがどのような日常、学校、練習活動をしているのかを指導者が知ることにより、学校選択や進路、海外留学への夢などを選手に伝える事も出来るのではないかと期待しています。

2. 講師紹介

① アンダーカテゴリー

東金町ビーバーズ 浦野 正 氏

東京都出身、成蹊高校、大学バレー部主将務める。

バレーボール歴

昭和55年（1980）東金町ビーバーズ結成。

東京都小学生バレー連盟、日本小学生バレー連盟、東京都バレー連盟を経て、日本及び東京都バレー連盟顧問。

東金町ビーバーズは男子全国21回、優勝3回、女子は15回出場、優勝3回。

（2026年）で創部46年、卒業生は650人を超える。

主なOB 日体大教授女子バレー部監督、根本研先生。ブルテオン、駿台学園梅川先生。

全日本セッター関田選手。全日本NEC大貫選手。タレント平野ノラさん等。

モットーは「夢と勇気」、「感謝の心」、「仲間への思いやり」、「謙虚な心の育成」である。

現在もバレー界に寄与、活躍している。

② 中高カテゴリー

私立高輪中学、高等学校 加賀 博紀 氏

1967(昭和 42)年、東京都荒川区出身。

資 格

日本スポーツ協会公認バレーボールコーチ 4。

バレーボール歴

荒川区立日暮里中学校(現在は諏訪台中学校)→東京都立白鷗高等学校→早稲田大学

大学卒業後に出版社に勤務、その後に教員に転じて他校(私立女子中高)での4年間の勤務後に現在の勤務校に移り講師1年の後に専任英語科教諭での在職30年目。

生徒指導担当29年目、生徒指導部長20年目。

勤務初年からバレーボール部顧問となり中学バレーボール部監督で30年間務める。

東京都中学校体育連盟バレーボール競技部 指導普及委員・第1ブロック常任委員(14年目)・港区専門委員(24年目)。

教職初年から東京教員バレーボールチームに参加、選手兼マネージャー。

その後、2001年に東京ヴェルディバレーボールチーム(Vリーグ)の立ち上げの際の選手兼マネージャーとなり、その後、同チームの指導普及コーチ、チームコーチを経て、現在は東京スリジエバレーボールチーム(地域リーグ)のアドバイザーを行う。

③ トップカテゴリー

日本体育大学女子バレーボール部監督 根本 研 氏

1972年(昭和47年)生まれ、東京都葛飾区出身

資 格

日本スポーツ協会(JSPO)公認コーチ4、世界バレーボール連盟公認(FIVA)コーチ(レベルⅡ)

バレーボール歴

葛飾区東金町ビーバーズ→金町中学校→東洋高校→日本体育大学

最終学歴:日本体育大学大学院博士後期課程満期退学

小学校・中学校時代に全国大会出場。高校時代には、主将を務めチームをまとめた。大学時代には、2度の全日本インカレ優勝を経験。その後、指導者となり同大学助手として男子バレーボール部コーチ、全日本男子ジュニアチームコーチとしてアジアジュニア銅メダルを経て大学院へと進学、男子ユニバーシアードチームアナリストとして世界ユニアードで銀メダルを獲得した。

現在は、日本体育大学女子バレーボール部監督として、これまでにリーグ戦優勝、東日本インカレ優勝、全日本インカレ優勝。また、ユニバーシアード監督として2019年イタリア・ナポリで開催された大会で銅メダルを獲得。その他、公益財団法人日本バレーボール協会指導普及委員、全日本大学バレーボール連盟指導普及委員長、公益財団法人関東大学バレーボール連盟理事(指導普及・強化委員)、公益財団法人東京都バレーボール協会理事強化委員長、日本バレーボール学会理事企画副委員長を務める。

現在まで、多くの卒業生がSVリーグ・Vリーグで活躍中。2025年に一般社団法人東京バレーボールカンパニーを設立し代表理事を務める。

アスリートセンタードコーチングを探求し、「日々、共に学び共に成長」をモットーに指導に従事している。

主な著書・論文等:「バレーボールの科学」共著:洋泉社、「ベストコーチーズマニュアル」共著:東京カラー印刷、「受けた」コーチングが「する」コーチングに与えた影響—アスリートからコーチへの移行期に着目して—共著:日本体育大学紀要

※会場は駐車場が狭いため、隣の県立武道館駐車場をご利用ください。

事務局の問い合わせ

埼玉県バレーボールスポーツ指導者協議会 事務局 櫻井浩幸

Mail: sva_shidousyakyougikai@yahoo.co.jp TEL: 090-8748-0968